

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-211	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	古探 002-902	精選古典探究 新版		

1.編修の基本方針

① 古典を読む資質・能力を高め、伝統的な言語文化への理解と関心を深める。

- ・教材を豊富に採録することで、選択の幅を広げました。
- ・古文編・漢文編のそれぞれをⅠ部・Ⅱ部の2部構成にし、時代やジャンルのバランスに配慮して教材を配置することで、古典を読む能力を段階的に養うことができるようにしました。
- ・単元扉を設け、その単元での学習目標と、学習する作品や教材に関連した年表を明示しました。また、各教材の「学習の手引き」「語句と表現」においては、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・「言語活動」を適宜設け、その活動と教材本文との関連を図ることで、古典や言語文化についての理解と関心を深めることができるようにしました。
- ・古文編Ⅰ部に「和歌の心―解釈のプロセス」を設け、和歌の構造や、和歌が地の文に与える効果を理解することで、古典の作品や文章に対する認識を深めることができるようにしました。
- ・古文編Ⅰ部の末尾に、古典に関する評論文「和歌というメディア」を採録し、古典における和歌の位置付けや意義、および外国の詩との相違点について知ることで、伝統的な言語文化についての理解と関心を深めることができるようにしました。

② 主体的に学ぶ態度を養い、思考力を伸ばすとともに、豊かな感性を育む。

- ・さまざまな「言語活動」に加え、古文編にはⅡ部第10単元「古典の注釈」を設け、古典が読み継がれてきた伝統や、古典を解釈するという文化について考えを深め、主体的に学び考える態度を養えるようにしました。
- ・漢文編Ⅰ部に、「項羽の評価を読み比べる」のページを設け、人物評を読み比べて自分の意見をまとめ、意見を交流させることで、登場人物に対する理解を深められるようにしました。
- ・古典に親しみ、将来にわたって主体的に学ぶ基礎を培うことができるよう、QRコンテンツを設けて、古典を理解するために必要な知識を補えるようにしました。
- ・さまざまな種類の論理的な文章も豊富に採録し、論理的に考える力を伸ばせるようにしました。
- ・「学習の手引き」「語句と表現」においても、読解力や思考力を養ったり、古人の豊かな感性について考えたりすることができるような設問を示しました。

③ 教材本文とコラム・附録等を有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

- ・「参考」を適宜設け、単元や教材で学習した内容に関連する資料を示し、古典の文章相互の関連について考えたり、日本における漢文の受容について考えたりすることができるようにしました。
- ・コラムとして古文編では「古文の窓」(21か所)、漢文編では「漢文の窓」(10か所)を設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
- ・附録として、古文編では各種文法資料を充実させるとともに「古文重要語句索引」「日本古典文学史年表」を、漢文編では「漢文句法・重要語のまとめ」「中国文学史年表」を用意し、多様な学習に対応できるようにしました。また、学習の見通しや振り返りに生かせるように、「この教科書で学ぶこと」を用意しました。
- ・巻頭・巻末には、古典の世界についての理解を深める資料を豊富に用意しました。

2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編Ⅰ部	1 説話1	・知識と教養に基づいた古人のあり方を描いた教材を用意しました。(第1号)	→12～13ページ
	2 歌物語	・他者への敬愛について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→30～32ページ
	3 随筆1	・自然の美しさを描いた教材を用意しました。(第4号)	→36～37ページ
	4 軍記物語	・他者への思いやりについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→46～49ページ
	5 随筆2	・普遍的真理について述べた教材を用意しました。(第1号)	→63～65ページ
	6 日記1	・個人の価値観の違いについて考えることができるコラムを用意しました。(第2号)	→80ページ
	7 作り物語1	・登場人物の心情の読み取りを通し、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号)	→82～90ページ
	8 歴史物語1	・伝統と文化について理解を深めることができる教材を用意しました。(第5号)	→104～105ページ
	9 詩歌	・和歌に表れた情景や心情から、生命や自然についての考えを深めることができる教材を用意しました。(第4号)	→108～113ページ
	10 近世小説1	・他者への思いやりを育んでいく人間のあり方に触れることができる教材を用意しました。(第3号)	→126～130ページ
	古文へのまなざし	・英語の詩との比較を通して、伝統的な言語文化への理解を深めることができる教材を用意しました。(第5号)	→131～135ページ
古文編Ⅱ部	言葉の変遷を調べる	・言葉の変遷のあり方に触れることができる教材を用意しました。(第5号)	→136ページ
	1 説話2	・絵画資料も通して、伝統と文化について考えることができる教材を用意しました。(第5号)	→138～143ページ
	2 日記2	・冷静に自己を見つめる姿勢を育むことができる教材を用意しました。(第1号) ・古文相互の影響関係について理解を深めることができる教材を用意しました。(第5号)	→148～151ページ →155～157ページ
	3 作り物語2	・相手を思いやる心や人間の生き方について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→160～194ページ
	4 歴史物語2	・能力を発揮し、自律の精神を持つ人間の生き方について触れることができる教材を用意しました。(第2号)	→196～205ページ
	5 評論	・古典について多面的に考察することができる教材を用意しました。(第1号)	→212～222ページ
	6 作り物語3	・古文の世界の多様性について触れることができる教材を用意しました。(第5号)	→228～238ページ
	7 俳諧	・自然の景観と人間の営みについて描いた教材を用意しました。(第4号) ・真理を求める態度について考えることができる教材を用意しました。(第1号)	→240～244ページ →245～248ページ
	8 上代の文学	・伝統的な言語文化の理解に資する教材を用意しました。(第5号)	→254～258ページ
	9 近世小説2	・身近な人への愛情など、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→264～271ページ
	10 古典の注釈	・古典がどのように受け継がれてきたのかを知り、古典に対する理解を深めるとともに、主体的に考える態度を養うことができる教材を用意しました。(第1号)(第5号)	→274～278ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
漢文編Ⅰ部	1 小話	・職務と責任について学ぶことができる教材を用意しました。(第2号)	→284～285ページ
	2 詩1	・名勝や季節の美しさを通じて自然への畏敬の念を学ぶことができる詩を用意しました。(第4号)	→288～291ページ
		・友人との別れを惜しむ心情を通じて友情の大切さを学ぶことができる詩を用意しました。(第3号)	→290ページ
		・日本人の作った漢詩を用意し、中国との関わりについて学習できるようにしました。(第5号)	→293～294ページ
	3 史記1	・古代中国の英雄である二人の生き方を通じて、それぞれの人生観にふれることができる教材を用意しました。(第2号)	→298～312ページ
	4 思想1	・儒家の思想について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→314～326ページ
		・孔子、孟子の文章に対しての日本人の解釈を載せ、日本と中国の関わりについて考えることができる教材を用意しました。(第5号)	→316～317ページ、 319ページ
	5 小説1	・中国の小説の特徴を知ることができる教材を用意しました。(第1号)	→328～332ページ
漢文編Ⅱ部	6 詩2	・国や時代を隔てた普遍的な家族に対する情愛について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→334～335ページ
	7 思想2	・道家の思想について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→340～345ページ
	8 文1	・正義や責任、社会といかに関わるべきかについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→348～351ページ
	1 史話	・職務と責任について学習できる教材を用意しました。(第2号)	→361～364ページ
	2 詩3	・名勝や自然物の美しさを通じて自然への畏敬の念を学ぶことができる詩を用意しました。(第4号)	→370～375ページ、
		・離れ離れの家族を思う心情を描いた詩を用意しました。(第3号)	→374ページ
	3 史記2	・職業と人生について考える教材を用意しました。(第2号)	→388～393ページ
	4 白楽天と日本文学	・漢詩が日本文学にどのように影響を与えたかを学べる教材を用意しました。(第5号)	→396～403ページ、 404～406ページ
	5 小説2	・理想的な社会のあり方や、他者に対する愛情について考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→408～415ページ
	6 思想3	・諸子百家の思想について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→418～428ページ
	7 文2	・唐宋八大家について代表的な文章を取り上げ、幅広い知識と教養を身につけることができる教材を用意しました。(第1号)	→430～438ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 教材に関係する文章を適宜紹介することで、古典として読み継がれる文章相互の関連や日本における中国文化の受容について理解を深めるとともに、日常的に古典の文章を読み広げる態度を養うようにしました。(学校教育法第51条2号)
- 「言語活動」や、各教材の手引きにおいて、調査報告・読み比べ・創作・課題探究などの活動を取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-211	高等学校	国語	古典探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	古探 002-902	精選古典探究 新版		

1.編修上特に意を用いた点や特色

- ① **目 標**…伝統的な言語文化に対する関心と理解を深め、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を育成し、社会人として求められる言語能力を身につけられるよう、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるような教材を選定し、「内容」に示された「知識及び技能」の二事項と、「思考力、判断力、表現力等」の一領域の学習が効率的・有機的に行えるようにしました。
- ② **「言葉の特徴や使い方」**…「知識及び技能」に示された「言葉の特徴や使い方」に関する事項の指導が行えるよう、教材ごとに重要語句や重要助字・句法を取り上げ、それぞれ附録に索引も用意しました。
- ③ **「我が国の言語文化」**…「知識及び技能」に示された「我が国の言語文化」に関する事項の指導が行えるよう、文語のきまり・訓読のきまりについて、読むことの学習に即して取り上げられるように配慮しました。また、「言葉の変遷を調べる」などのページでは、言葉の変化について理解を深められるようにしました。
- ④ **「A 読むこと」**…教材については、「3内容の取扱い」および「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」に示された事項に留意して選定しました。言語活動については、読解教材に関連して行えるよう教材末の設問を工夫したり、特設ページを設けたりして示しました。古典についての評論文としては、「和歌というメディア」を採録しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等 読むこと	
古文編 I 部				
1 説話1	宇治拾遺物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	12
	■古文の窓1 小野篁の謎	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	13
	古今著聞集	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	14
	●和歌の心一解釈のプロセス	(1)イ、ウ、エ／ (2)イ	(1)イ、ウ、ク	16
2 歌物語	伊勢物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	22
	■古文の窓2 垣間見	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	23
	大和物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	30

	■古文の窓3 『更級日記』の題名	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	32
	〔言語〕娵捨伝説を読み比べる	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、エ	(1)エ、カ、キ、ク／ (2)イ	33
3 随筆1	枕草子 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ／ (2)ア	36
	■古文の窓4 紫式部の初出仕	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	43
	■古文の窓5 平安時代の後宮一定子をめぐる人々	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	44
4 軍記物語	平家物語 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ／ (2)エ	46
	〔言語〕「忠度の都落ち」を読み比べる	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ウ、エ、ク／ (2)イ	50
	■古文の窓6 『平家物語』諸本と『建礼門院右京大夫集』が描く乱世	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	58
5 随筆2	方丈記	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、カ、ク	60
	徒然草	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	62
	玉勝間 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ、ク／ (2)イ	70
6 日記1	更級日記	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、オ	74
	蜻蛉日記	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ	78
	■古文の窓7 日記作者と物語一道綱母・孝標女をめぐって	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	80
7 作り物語1	源氏物語(一) 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ、ク ／(2)ア	82
	■古文の窓8 紫のゆかり	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	90
8 歴史物語1	大鏡(一) 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ／ (2)イ	92
	〔言語〕道真伝説を調べる	(2)ア	(1)キ、ク／ (2)オ	104
	■古文の窓9 語り伝えられる陰陽師・安倍晴明	(2)ア	(1)エ	106
9 詩歌	八代集の世界 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ／ (2)ウ	108
	歌合 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、キ、ク／ (2)ア	114
	歌論 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、オ／ (2)ア	117
	歌謡	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、ク	122
	■古文の窓10 沖縄の歌謡—オモロ・琉歌	(1)イ、エ／ (2)ア	(1)エ	124
10 近世小説1	世間胸算用	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、エ、オ	126
古文へのまなざし	和歌というメディア	(1)イ、エ／ (2)ア、エ	(1)エ、カ、ク	131
	〔言語〕言葉の変遷を調べる	(1)ア、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)キ、ク／ (2)カ	136
古文編 II部				
1 説話2	宇治拾遺物語 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、エ、ク／ (2)オ	138
	■古文の窓11 説話と絵巻	(1)イ／ (2)ア	(1)ク	143

	発心集	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	144
	■古文の窓12 仏教説話と世俗説話	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	146
2 日記2	紫式部日記	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	148
	和泉式部日記	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、ク	152
	十六夜日記 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、ク／ (2)イ	155
	〔言語〕日記を文語で書く	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)イ、ウ	(1)ウ、オ、ク／ (2)ウ	158
3 作り物語2	源氏物語(二) 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、ウ、カ、キ、ク ／(2)イ	160
	■古文の窓13 六条院	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	176
	■古文の窓14 『源氏物語』の世界	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	184
	■古文の窓15 宇治十帖の女性たち	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	190
4 歴史物語2	大鏡(二)	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、エ、カ	196
	〔言語〕伊周の人物像を読み比べる	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ウ、エ、キ、ク／ (2)イ	206
	■古文の窓16 道長の栄華と望月の歌	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	210
5 評論	俊頼髄脳	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	212
	無名抄	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ	214
	正徹物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ、ク	216
	無名草子	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	218
	源氏物語玉の小櫛	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	220
	■古文の窓17 本居宣長以前の『源氏物語』論	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	222
	花鏡 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ、キ ／(2)ア	223
	虚実皮膜論	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ、カ	225
6 作り物語3	落窪物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	228
	堤中納言物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	231
	■古文の窓18 物語の書きだしの工夫	(1)イ、エ／ (2)ア	(1)エ	234
	とりかへばや物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	235
	■古文の窓19 『源氏物語』以降の物語	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	238
7 俳諧	芭蕉	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	240
	蕪村	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、カ	243
	去来抄 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ、ク／ (2)イ	245
	三冊子	(1)ア、イ、ウ、エ／	(1)ア、イ、エ、カ	249

		(2)ア、イ		
	〔言語〕連句をよむ	(1)イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)イ、ウ、オ／ (2)ウ	251
8 上代の文学	古事記	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、カ、ク	254
	万葉秀歌	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、ウ、オ	259
	■古文の窓20 『万葉集』の表記	(1)ア、イ／ (2)ア	(1)エ	262
9 近世小説2	雨月物語	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、カ	264
	■古文の窓21 中国小説の翻案	(1)イ／ (2)ア	(1)エ	272
10 古典の注釈	『小倉百人一首』の注釈を読む	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)ア、イ、エ	(1)エ、オ、キ、ク／ (2)ア	274
漢文編 I 部				
1 小話	小話一四編	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、キ／ (2)ア	280
2 詩1	近体詩一六首	(1)ア、イ、エ／ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	288
	日本の漢詩一二首	(1)ア、イ、エ／ (2)ア、イ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	293
	〔言語〕漢詩の作り方を知る	(1)イ、エ／ (2)イ、エ	(1)キ、ク／ (2)ウ	295
	■漢文の窓1 明治の文豪と漢詩	(2)ア、エ	(1)ウ、エ、カ	296
3 史記1	項羽 〔言語〕	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ	(1)ア、イ、エ、カ／ (2)ア	298
	■漢文の窓2 捲土重来	(2)エ	(1)ウ、ク	309
	項羽の評価を読み比べる	(1)イ／ (2)イ、エ	(1)ア、イ、エ、ク	310
4 思想1	儒家の思想 〔言語〕	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ／ (2)イ	314
5 小説1	小説一二編	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ	(1)ア、イ、ウ、キ	328
6 詩2	古詩一四首	(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)イ	(1)ア、イ、エ、カ	334
7 思想2	道家の思想	(1)ア、ウ／ (2)イ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ	340
	■漢文の窓3 儒家と道家	(2)ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、カ	346
8 文1	文一三編	(1)ア、ウ、エ／ (2)イ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ	348
漢文編 II 部				
1 史話	三国志の世界 〔言語〕	(1)ア、ウ／ (2)イ	(1)ア、イ、エ、カ／ (2)キ	358
	■漢文の窓4 三国志	(2)ア、エ	(1)エ	365
	日本外史	(1)ア、イ、ウ／ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、エ、カ	366
2 詩3	李白と杜甫	(1)ア、イ、ウ／ (2)イ	(1)ア、イ、エ、カ	370
	■漢文の窓5 届く言葉と届かない言葉	(2)エ	(1)エ、カ	378
3 史記2	荊軻伝	(1)ア、ウ／ (2)イ	(1)ア、イ、エ、カ	380

	■漢文の窓6 士は己を知る者のために死す―「刺客列伝」	(2)エ	(1)エ	387
	韓信伝	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ	(1)ア、イ、エ、カ	388
	■漢文の窓7 劉邦と漢の三傑	(2)エ	(1)エ	394
4 白楽天と日本文学	白楽天〔言語〕	(1)ア、イ、ウ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、キ／ (2)イ	396
	和漢朗詠集	(1)ア、イ、ウ／ (2)ア、イ	(1)ア、イ、エ、キ	404
	■漢文の窓8 白楽天と日本人	(2)ア	(1)エ	406
5 小説2	小説一二編〔言語〕	(1)ア、ウ／ (2)イ	(1)ア、ウ、キ／ (2)イ	408
	〔言語〕本の帯を作ろう	(2)エ	(1)オ、ク／ (2)オ	416
6 思想3	諸子百家	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ、キ	418
	■漢文の窓9 始皇帝と韓非	(2)エ	(1)エ、オ	427
	■漢文の窓10 諸子百家	(2)エ	(1)エ	428
7 文2	唐宋八大家の文章〔言語〕	(1)ア、ウ／ (2)イ、ウ、エ	(1)ア、イ、ウ、オ／ (2)イ	430